

祝・日佛交流・横浜開港150年

# 日佛友好 コンサート

## Concert de l'amitié franco-japonaise

フランスの第一線で活躍する演奏家と、  
日本のキャリア豊かな演奏家が奏でる  
近代フランス室内楽名曲集。

### PROGRAM <2公演共通>

プレトーク:画像でよみとく「日本と仏蘭西」斎藤 龍

ハイドン:フルート・チェロ・ピアノのための三重奏曲ニ長調Hob.V:16

(フルート:ジャン・フェランディス/チェロ:斎藤 鶴吉/ピアノ:パトリック・ジグマノフスキー)

サンサーンス:「ロマンス」変ニ長調 Op.37

(フルート:ジャン・フェランディス/ハープ:斎藤 葉)

カサド:「愛の言葉」(チェロ:斎藤 鶴吉/ピアノ:花房 晴美)

ラヴェル:「夜のカスパー」より「スカルボ」(ピアノ:花房 晴美)

グマーズ:フルート・ハープ・チェロのための三重奏曲 Op.1

(フルート:ジャン・フェランディス/ハープ:斎藤 葉/チェロ:斎藤 鶴吉)

ヴェルディ:「リゴレット」「女心の歌」

ドニゼッティ:「愛の妙薬」 「人知れぬ涙」

ビゼー:カルメン幻想曲(テノール・フルート&ピアノ)

ビゼー:「カルメン」 「お前が投げたこの花は」

レヴェルヴ:舟歌(フルート&ピアノ)

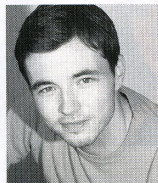
ブッチーニ:「トスカ」 「星は光りぬ」

ブッチーニ:「トゥーランドット」 「誰も寝てはならぬ」

(テノール:セバスティアン・ゲーズ/フルート:ジャン・フェランディス/  
ピアノ:パトリック・ジグマノフスキー)

セバスティアン・ゲーズ  
Sebastian Gueze <テノール>

パリ国立音楽院マスタークラスを優秀な成績で卒業、数々の国際コンクールを受賞する。(プラシド・ドミンゴ世界オペラコンテスト準優勝など)。幅広いオペラの役柄をこなしながらその美声とドラマティックな迫力で、世界を舞台に活躍する、次世代黄金のテノール期待の新人。演奏家HP <<http://sebastiengueze.com>>



花房 晴美  
Harumi Hanafusa <ピアノ>

桐朋学園高校首席卒業後、フランス政府給費留学生としてパリ国立音楽院で学び、同音楽院ピアノ科と室内楽科を卒業。世界の主要コンクールの相次ぐ受賞、また世界を舞台とした活躍は、近年カンヌ音楽祭で『技術に裏付けられた輝かしい演奏』と絶賛されるなど、名実ともに日本を代表する国際的ピアニスト。デビュー30周年記念サイトでは、人間の心の繊細な揺れ動きをフランスならではのピアノニズムで弾き表し、聴衆に深い感動を与えた事は記憶に新しい。



ジャン・フェランディス  
Jean Ferrandis <フルート>

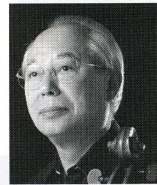
相次ぐ国際コンクールで高い評価を得、国際的指揮者レナード・バーンスタインより「彼はまさにパン(牧神)である!」とうならせたソリスト。フランスのユーモアとエスプリをフルートで体現する魅力あふれる音色は、ヨーロッパのみならずアジアなど世界各地で賞賛を浴び、ギトリス(ヴァイオリン)など一流演奏家と室内楽アンサンブルで共演。2003年、ジャパントゥアールを行い、自然を愛する伸びやかな音色、その演奏スタイルは日本人ファンを魅了し、話題を呼んだ。また、音楽性を重視する指導は国境を越えて、世界の後進の指導(マスタークラス)に力を注ぐ。パリ・エコールノルマル教授。

演奏家HP <<http://jean.ferrandis.free.fr/>>



斎藤 鶴吉  
Tsurukichi Saito <チェロ>

東京藝術大学卒業、1960年同大学専攻科修了と同時にNHK交響楽団に入団。あわせてアカデミー弦楽四重奏団、アルス弦楽四重奏団、オルピス弦楽四重奏団、古典音楽協会などのチェリストとしても活躍し、長く造詣深いキャリアとともに、後進の指導を行い、音楽を通して社会に貢献する。ふと深く愛情に満ちた音色は、音楽に対する愛情そのものであり、風土に基づいた音楽観は、誰もが馴染みやすく安らぎを得やすい。クラシックコンサートの構成及び企画など、日本横浜の音楽界の発展と後進の育成に力を注ぐ。横浜音楽文化協会会長。



パトリック・ジグマノフスキー  
Patrick Zygmanski <ピアノ>

天才少年として幼少の頃よりラフマニノフ、ラヴェル、プロコフィエフなどと交流を深め、パリ国立高等音楽院マスタークラス卒業後、国際的に活躍するピアニスト。作曲や編曲、プロデュースなどにも才能を発揮、また国籍を問わず、数多くのプロを育成。その指導内容も(肉体と精神のバランスと芸術の関係)を整体学者らとともに模索した独自の演奏法哲学に及ぶ。また自ら(ボルドー音楽祭)を監督するかたわら、カンヌ音楽祭、フランス音楽祭に招聘される。(音)を通じて語る深い造詣と思索がこめられた哲学は、音楽のジャンルを超えて活躍するボーダーレスな芸術家である。パリ・エコールノルマル、リヨン国立高等音楽院教授。演奏家HP <<http://www.zygf.fr/>>



斎藤 葉  
Yo Saito <ハープ>

東京藝術大学大学院修士課程修了後、スイスのローザンヌ・コンセルヴァトワールに学ぶ。日本ハープコンクールプロフェッショナル部門第2位。オーソドクスな再現演奏のみならず、自らの作曲編曲による親しみやすい音楽創造により、ジャンルを超えた音楽世界を作り上げる。正倉院復元楽器(箏篋)の演奏技法を研鑽し古代の音色を蘇らせ、東大寺大仏開眼1250年には箏篋の奉納演奏を行う。最古のグランド・ハープ(フランス/エラル社)から最新のエレクトリック・ハープまで多様に親しみ、実力に裏打ちされた独自の感性をそなえるハープリスト。演奏家HP <<http://www.yo-saito.com>>



斎藤 龍  
Ryu Saito <プレトーク>

画像でよみとく「日本と仏蘭西」

東京藝術大学音楽学部楽理科卒・修。音楽史・文化史を現代の実践に生かし、コンサートの構成と解説、プロデュースを行い、数多くの執筆も手がける。大学教授から女性初の横浜市助役に就任し教育・文化・国際交流に尽力、横浜市芸術文化振興財団理事長として数々のフランスと横浜市共同の芸術・文化事業を成功させた。2006年フランス政府より芸術文化勲章シュバリエ叙勲、横浜文化賞を受賞する。